

「第 13 回 複合・合成構造の活用に関するシンポジウム」の講演原稿募集

◆開催期日：2019 年 11 月 14 日(木), 15 日(金)◆

◆申込締切日：2019 年 5 月 31 日(金)◆

土木学会 複合構造委員会は、日本建築学会(鋼コンクリート合成構造運営委員会)と共催で、鋼とコンクリートによる複合・合成構造に限らず、その他の材料による複合・合成構造に関する研究成果も含めた発表や情報交換の場として、「第 13 回 複合・合成構造の活用に関するシンポジウム」を開催します。

このシンポジウムは、1986 年の「第 1 回 合成構造の活用に関するシンポジウム」を緒とし、2007 年(第 7 回)より、隔年で開催しており、今回で 13 回目の開催となります。シンポジウムでは、研究成果講演のほか、パネルディスカッションや現場見学会、意見交換会などの特別企画も予定しております。

講演集原稿を下記の要領で募集致しますので、奮ってご応募くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 主 催：土木学会(複合構造委員会), 日本建築学会(SCCS 運営委員会)
2. 後 援：日本鋼構造協会, 日本コンクリート工学会, 日本材料学会
日本複合材料学会, プレストレストコンクリート工学会
3. 開催期日：2019 年 11 月 14 日(木), 15 日(金)の 2 日間
4. 会 場：土木学会 講堂ほか
5. 募集要領：
 - (1) 募集課題：①設計, 構造解析に関するもの, ②圧縮, 曲げ, せん断, ねじりなど部材強度に関するもの, ③ずれ止めに関するもの, ④異種部材間の連結に関するもの, ⑤構造物への適用事例に関するもの, ⑥FRP の適用に関するもの, ⑦その他
 - (2) 申込締切日：2019 年 5 月 31 日(金)
 - (3) 申込方法：土木学会／複合構造委員会のホームページの専用ページから登録して下さい。
<http://committees.jsce.or.jp/fukugou04/node/13>
入力内容は、①題目, ②著者情報, ③勤務先もしくは学校名, ④連絡先(氏名, 電話, FAX, E-mail アドレス), ⑤原稿および講演の言語(日本語もしくは英語), ⑥応募課題番号, ⑦講演原稿の要旨(日本語の場合：400 字以内, 英語の場合：300 語以内)とキーワードです。講演の採否は、課題, 応募原稿数, 発表時間などを考慮して、複合構造委員会にて判断いたします。採否結果を 6 月中旬までに E-mail にて連絡いたします。なお、採択となりました際には、必ず講演原稿を投稿し、シンポジウム当日、講演して頂きます。
 - (4) 問合先：〒160-0004 東京都新宿区四谷 1 丁目外濠公園内
公益社団法人 土木学会 研究事業課 複合構造委員会 (担当：工藤)
TEL：(03)3355-3559, FAX：(03)5379-0125

- (5) 講演概要集：CD 講演概要集を作成致しますので、採択の際は、講演原稿の執筆(A4用紙 8 ページを標準とする)を依頼致します。なお、このシンポジウムの講演集は、2 年間経過した後、土木学会のホームページにおいて、一般公開される予定ですので、予め、ご了解下さい。
- (6) 投稿締切日：2019 年 8 月 30 日(金)
- (7) 参加費：講演に際しては、シンポジウムへの参加費が必要となります。参加費は、原稿 1 編ごとに、土木学会・日本建築学会正会員：8,000 円、後援団体会員：8,000 円、非会員：12,000 円、学生：4,000 円(CD 講演概要集代 3,000 円を含む)程度を予定しています。

6. その他

(1) 参加申込について：

参加費などシンポジウムへの参加申込の詳細は、土木学会誌の 9 月号に掲載予定です。

(2) 表彰制度について：

土木学会複合構造委員会では、40 歳未満の講演者を対象として、研究内容に加えて講演内容が優れている場合に、表彰する制度を設けています。受賞者は、後日、複合構造委員会のホームページに氏名を発表するとともに、表彰状を送付します。

(3) 土木学会論文集特集号について：

土木学会複合構造委員会では、土木学会論文集 A1 特集号を発刊いたします。1 年に 1 回の定期的発刊を目指しており、第 1 号を平成 26 年 5 月に発刊しました。「複合・合成構造の活用に関するシンポジウム」における特に優れた講演の中から、討議等によりさらに内容が充実した論文を投稿していただき、査読を経た論文が本特集号(第 7 号 2020 年発刊の予定)に掲載されます。投稿要項などの詳細は、今後、複合構造委員会のホームページ (<http://www.jsce.or.jp/committee/fukugou/index.htm>) 上に随時公開いたします。シンポジウムでの講演内容をさらに多くの方々に対して情報提供できますので、ぜひこの機会をご利用下さい。

以 上